

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日 平成 25 年 5 月 22 日			
所属学部・研究科	先端物質科学研究科 1年次 (留学開始時点)			
留学先大学	セイントメリー大学 (国名: カナダ)			
所属学部・学科等名	文科系学部			
在籍身分	Visiting student, undergraduate student			
留学期間	平成 24 年 9 月 1 日 ~ 平成 25 年 4 月 8 日			
<b>1. 渡航について</b>				
ビザについて	ビザの種類: 就学ビザ			
	ビザ申請先: カナダ大使館			
	取得方法, 提出書類: カナダ大使館ホームページ参照。許可承諾まではインターネットで手続きを行う。ホームページに記載の書類をスキャンし指示に従いアップロードすれば一ヶ月程度で可否の結果がメールで届く。承諾を得た証明書を印刷し、渡航時にカナダの空港に提出すると正式なビザを取得することができる。			
	手続きに要した日数: 一ヶ月程度			
その他必要な事前手続き	パスポートの期限確認、資金証明発行(日本語の発行のみの場合翻訳が必要)、寮やミールプラン、大学への申請料振込、ESTA 申請(航空便がアメリカ経由だったため)			
出国年月日	平成 24 年 8 月 15 日			
経路	広島→成田→(ニューヨーク→シカゴ→ミネソタ→; 現地まで旅行をしたため) トロント→ハリファックス			
現地での出迎え	<input type="checkbox"/> 有 (・大学関係者 ・その他) <input checked="" type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	9月初旬に留学生オリエンテーション開催。 その後1週間程度, 様々なイベントが用意されている。 参加に申し込みが必要なイベントがあるため8月から9月に掛けてセイントメリー大学から届くメールに注意。			
帰国年月日	平成 25 年 7 月 12 日			
経路	ハリファックス (→モンクトン→トロント→ニューヨーク; 現地で知り合った友達と旅行をしたため) →成田			
<b>2. 留学経費について</b>				
所要経費	総額	150 万	円	
	内訳	渡航費	20 万	円
		保険料	10 万	円
		教科書代(学費)	5 万	円
		宿舍費	40 万	円
		食費	25 万	円
		その他 (旅費) (雑費) ( 費)	25 万 25 万	円 円 円

3. 授業について	
2012年 前期	9月 5日 ~ 12月 18日
2013年 後期	1月 5日 ~ 4月 8日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	広島大学では大学院生でしたが、セイントメリー大学では学部生として以下の6つの授業を履修しました。Chinese (1 year course), English as a second language (1 year course), Learning, Religious study. 現地の学生は1セメスターで5つの授業を履修しているようですが、交換留学生は3つぐらいに止めておいた方が空いた時間を予習・復習や現地生徒との交流、旅行等に使い一年で幅広い経験を習得することができると思います。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合、所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	履修教科によるとは思いますが、HUSAに必要なTOEFLの点数の取得者であれば単位取得は難しくないと思います。心配せず、与えられた教材で予習復習をしましょう。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input checked="" type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居の広さ	約 13 m <sup>2</sup> 同居人の有無 <input checked="" type="checkbox"/> 有 (1人) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )
住居費	1ヶ月当たり (現地通貨) 約 円
住居を決定した方法	<input type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input checked="" type="checkbox"/> その他 ( セイントメリー大学の指示 )
留学先での住居全般に関するアドバイス	自分の部屋は唯一留学時に心と身体を休められる場となりますので、しっかり考えて自分の配属される寮を選ぶ必要があります。寮については「生活の概要に関するレポート」にまとめましたのでご参考ください。
(2) 医療について	
1日以上入院を要する 病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ( )
掛け金は	年間 106,430 円 補償額 死亡 1千万円, 治療・救護 最大1億円 その他 (広島大学が提携している保険です。配布される資料参照。)
留学前後での予防接種 の必要の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	

日常的な健康について 不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由：	
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療機関を利用しなかったため、何とも言えません。	
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	ハリファックスは西条と比べても非常に寒い町です。外出時はしっかり厚着をしましょう。そのため、大学内寮内は暖房が常に稼働していますので、非常に乾燥しています。乾燥対策も怠らないようにしましょう。	
(3) 危険を感じた地域、状況		
特になし。		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
バスで 30 分程度の距離に割と大きなモールが二つあり、徒歩 10 分から 20 分の距離にスーパーが二つあります。生活用品はすべてそこで揃えます。		
<b>5. 帰国後の進路について</b>		
卒業予定年月	平成 26 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 25 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input checked="" type="checkbox"/> その他 (大学院1年次に留学したため)	
現在の状況および今後の予定・進路等	8月の帰国後、研究室復帰し10月から大学院2年次の授業を履修。その後就職活動。	
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学が9月から4月までで大学院2年次の前期授業の履修が不可能でしたので、大学院1次の前期に前期の必須授業をもれなく取得しました。帰国後に単位で困らないように、留学前にしっかり学生便覧をみて、履修計画を立てましょう。	
<b>6. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細 (出版社、URL 等)	コメント
教科書 (研究用)		留学中にも研究の勉強をするため。
<b>7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)</b>		
大学院生で留学を希望している方は、研究室の教授との相談が非常に重要になります。研究途中に一年間席を空けることによって迷惑をかけてしまう場合があると思いますので、しっかりした計画をもって教授と相談しましょう。		

## 学習の概要に関するレポート

広島大学では先端物質科学研究科で工学部系の授業を履修していましたが、留学の目的が英語学習でしたのでセントメリー大学では文科系の授業のみを履修しました。大学院から交換留学を希望している方は、留学希望先で広島大学での研究内容と関連性の高い授業を見つける事が難しく心配している方も多いのではないかと思います。研究と関連性の高い授業が見つからなかった私はセントメリー大学では英語学習に全力を注ぎ、空き時間に持参した研究室の教科書で工学部の勉強をしていました。結果として、研究内容の勉強と平行して理系の学生がなかなか学べる事のできないような教科書を履修する事ができ知見を深めるとともに確実に英語力をあげる事ができたと思います。英語学習についてですが、セントメリー大学内の授業で英語そのものを学べるものはありません。英語そのものを学びたいという方は大学に隣接する TESL という語学学校がありますので、そちらに申し込む必要があります。しかしながら、TESL は HUSA のプログラムとは無関係であるため授業料が必要な上、季節によって数十人の日本人が通っているため英語を学習する環境としてはあまり良いとは言えませんので個人的にはおすすめできません。実際に TESL に通っていた日本人の友達が、「日本人以外の友達がなかなかできない。」、「毎日、日本人の友達といて留学している気がしない。」と不満を漏らしていました。また彼らによると TESL で学ぶ事は高校で学習した基本的な文法などで、スピーキングやプレゼンテーションの授業以外は新しく学べる事は少ないということです。HUSA の申請資格を得られる TOEFL の点数の持ち主は少し物足りないと感じるのではないのでしょうか。私の経験上、英語の上達はどれだけ英語を使うかに限ると思います。そこでは私は、インタラクションの少ない授業そのものというよりは授業以外にできる限り力を注いでいました。全授業でできるだけ多くの友達を作り、放課後積極的に図書館やカフェで会い英語で会話をしながら授業の予習復習、テスト勉強を一緒にしていました。また、セントメリー大学は毎週金土日が休みで3連休となっています。そしてセントメリー大学は寮と校舎が隣接しているので、放課後と週末は友達と交流をすることで英語力をあげる良い機会です。私は宿題や予習復習で負担を掛かりすぎてせっかくの機会をなくさないように3教科を履修していました。多くの授業を履修したくさんの課目を勉強するのも良い事だと思いますが、私は日本ではなかなかできないネイティブスピーカーとのインタラクションに重きを置いていたためこのような方法をとりました。後期の授業は人数制限を超えない限り12月まで履修登録できますので、授業数に関しては前期の様子をみて自分に合わなければ後期で変更するというのもよいかもしれません。正直なところ、私はこの留学を通して授業以外で学んだことの方が多気がします。語学や文化、国際感覚をセントメリー大学で知り合った友達と朝から晩まで交流しながら学びました。単位を落とすのはもってのほかですが、せっかくの海外生活ですから“授業”のみに固執せず日本では経験できないことにしっかり目を向けて学ぶ姿勢も大切だと思います。

## 生活の概要に関するレポート

私は前期、後期共に Vanier という寮のダブルルームに入りました。寮としては他の二種類の Rice と Loyola に比べ、エレベーターや電子レンジ等もなく機能性に劣ります。しかしながら、フロアミーティングを頻繁に行っており、フロア内の人と共に行うイベントも多いです。また Vanier は Loyola と比べフロアが小さくフロア内の住居者の人数は少ないものの、団結力は非常に強く交友関係を築く環境について言えば最も優れていると思います。Rice は TESL に通う日本人学生が比較的多い印象がありますのであまり学習環境面で言えばお勧めできません。Rice 以外の寮は学食のミールプランへの申し込みが必要となります。私の友達のほとんどは学食で出会い、学食で毎日のように話しました。友達にミールプランの契約者が多いとグループになかなか入るのが大変ですので、Rice を考えている学生さんもミールプランの申し込みをお勧めします。私は現地の係員の手違いで前期と後期で部屋が変わり一年間で 2 人のルームメイトと過ごすことになりました。まずルームメイトについてですが、希望を記入する欄が申込用紙にあります。しかしながら実際、留学生は留学生同士とカナダ人はカナダ人同士と入居する傾向があるように思います。私はカナダ人を希望したのですが、フロア内にカナダ人はたくさんいたもののカナダ人はカナダ人同士で入居し、私の部屋に配属されることはありませんでした。私の前期のルームメイトはドイツ人でドイツの文化のためか、比較的気を遣ってくれる方でしたのでルームメイトとのトラブルは一切なかったです。入居時は第二次世界大戦時のドイツと日本について話したり、一緒にジムや学食にいたり楽しく前期を過ごすことができました。一方で、気を遣うことも多く友達と遊ぶ場がない時でも友達を部屋に連れてくることができなかつたり、朝に授業がない日もルームメイトが寝ている時は早めに就寝していました。後期のルームメイトはナイジェリアの方で文化のためか、私の認識の範囲内ではあまり気を遣ってくれることがなかったように思えます。勝手に私のシャンプーをつかつたり、朝に寝ているにもかかわらず友達数人を部屋に連れてきて大声で話をしたりするので注意することが多かったです。周りの人に気を遣うという概念は海外では当然ではないこともありますので、単純に「ダブルルームにして良いルームメイトと友達になり楽しい留学生生活を過ごそう。」と考えるのは非常に危険です。文化の違う人と共存するという事は非常に良いことで留学生活上これ以上ない経験になると思いますが、寮の部屋というのは厳しい留学生活の中、唯一心と身体を休められる場となるのでルームメイトとのトラブルでその場を失うというのはあってはならないことだと思います。私個人の意見としては、シングルルームをとり、フロアミーティングやサークル、授業などで知り合った友達としっかり大学内や街で交友関係を深め自分の部屋ではしっかり休んだり、自習して生活の中で感じる英語への不安を解消していくという方がストレスなく、また効率よく留学生生活を堪能できると思います。